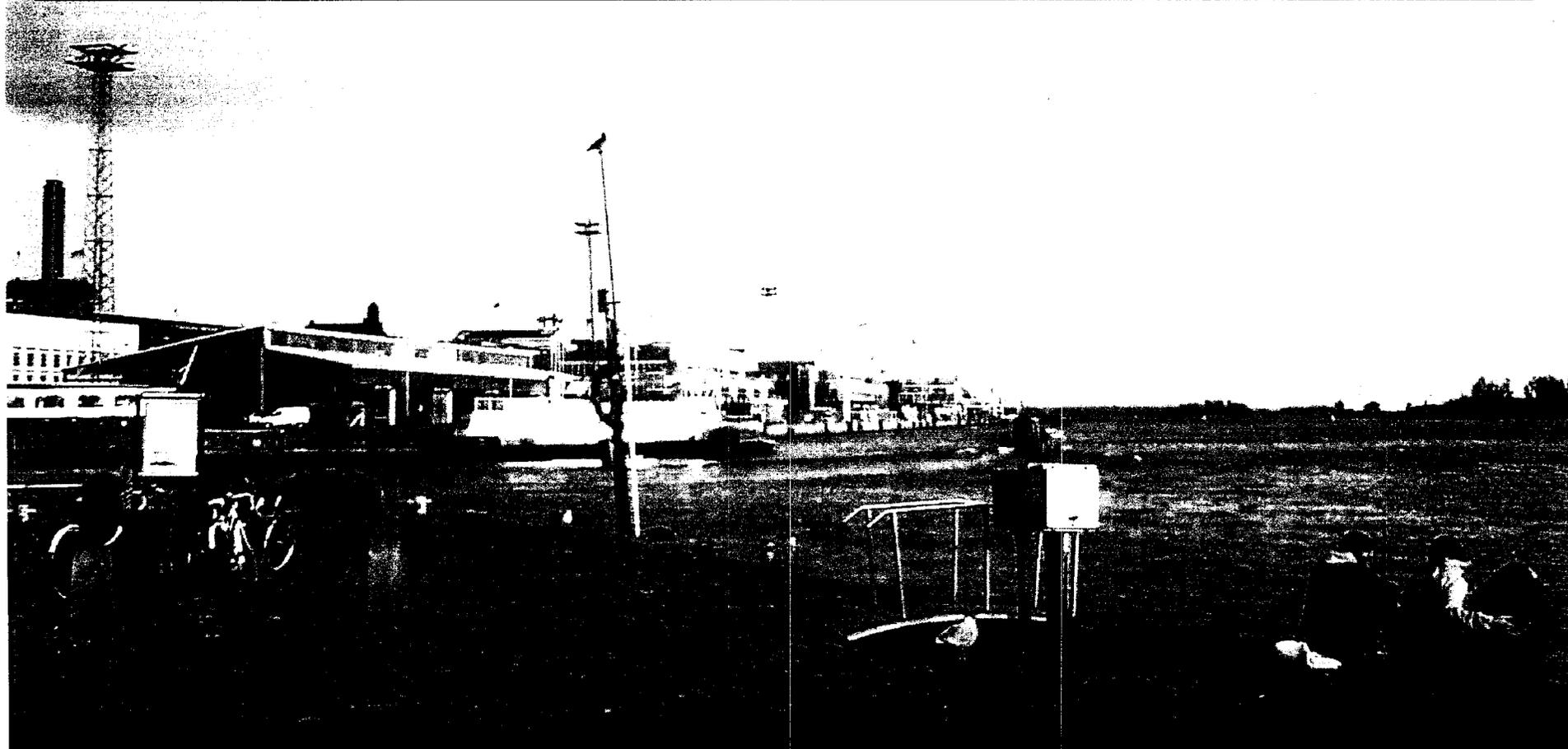


安心と希望の介護ビジョン

～暮らしの連続と地域生活を保障するシステムの創造～



高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長 小山 剛

★抱えている課題

- ・施設と在宅では費用負担の格差が大きい
 - ・就労・高齢などで同居家族も連続的な介護は困難
 - ・それまでの人生を継続できない大規模集約型
 - ・住宅と呼べないお粗末な住環境
 - ・24時間365日連続するサービスがない
 - ・3食365日の配食がない
- (上記二つは施設ではあたりまえのこと)

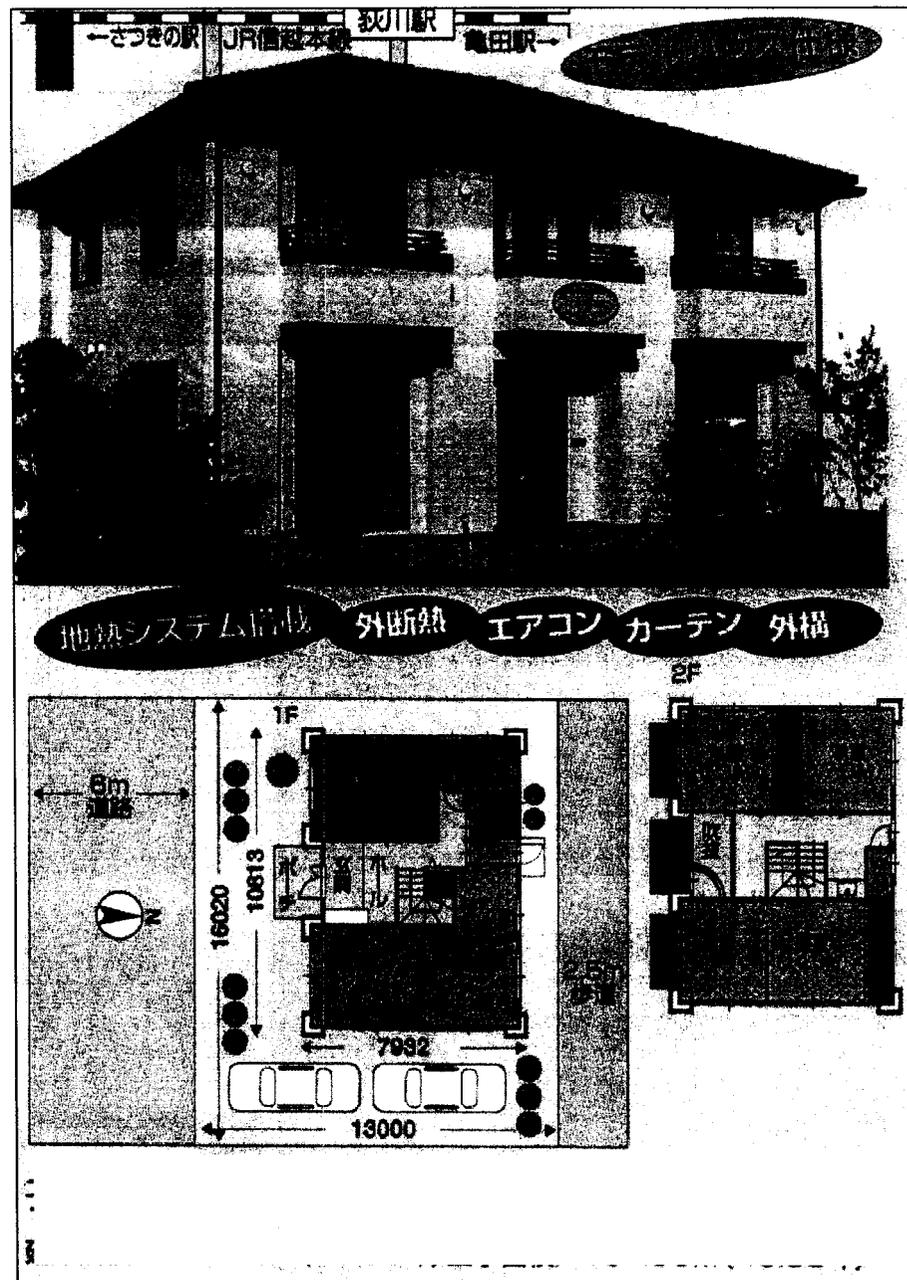
★目指している方向

- ・在宅定額サービス(小規模多機能型居宅介護)の拡大
- ・地域(生活圈域)の中で提供するサービスの拡大
- ・普通の住まい(バリアフリー)の提供
- ・24時間365日連続するサービスの拡大

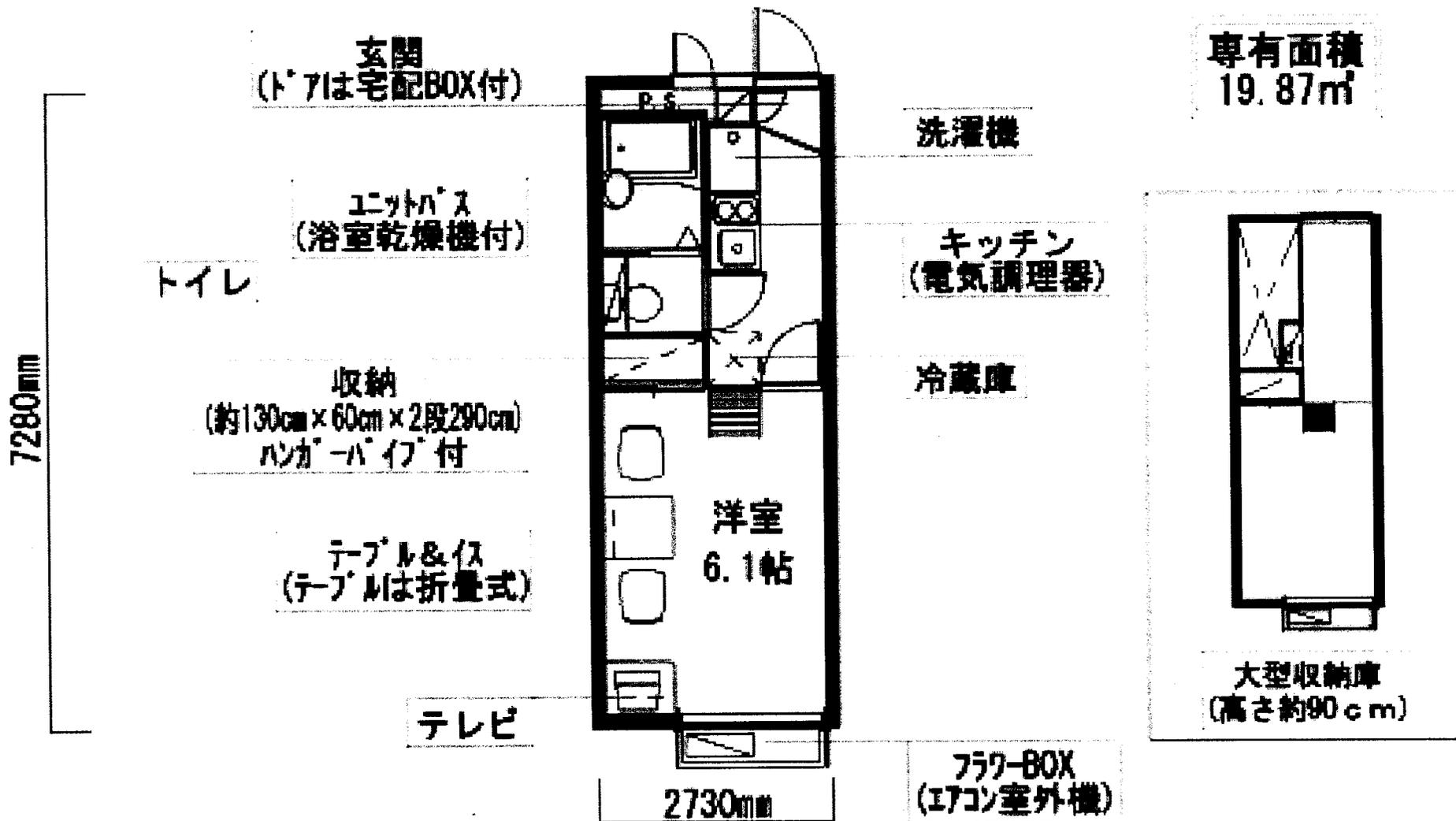
お金は高いが 貧弱な住環境

(2002年ヒヤリング資料)

老人ホームの
1ベッド分の建築コスト =



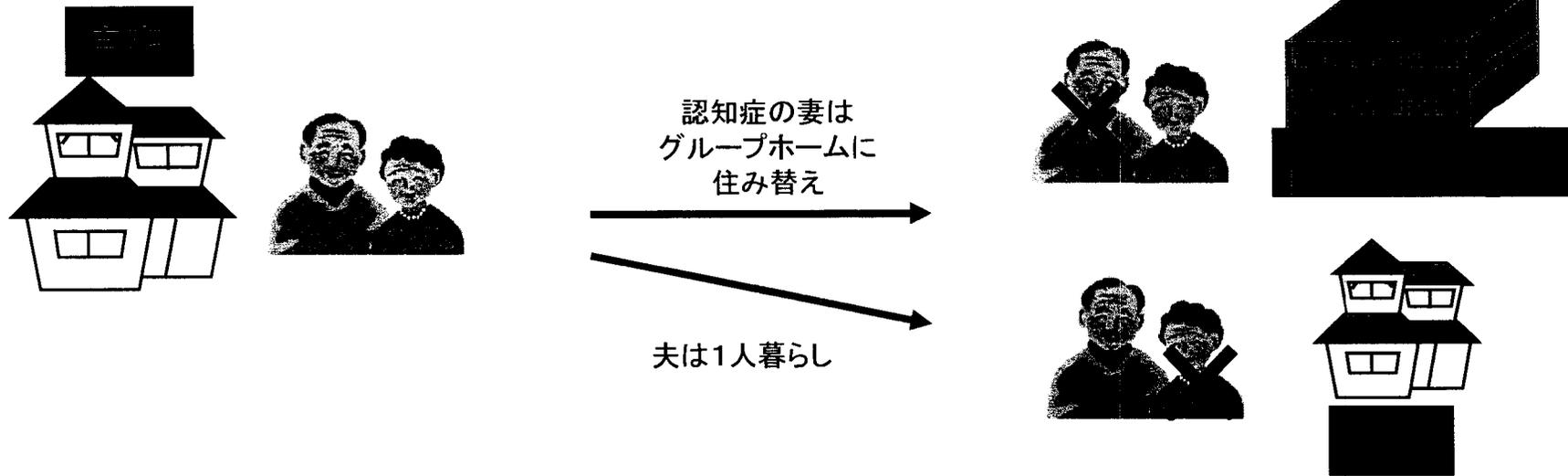
現在**1100~1200**前後(バブルの時代は**1500~4800**万円)



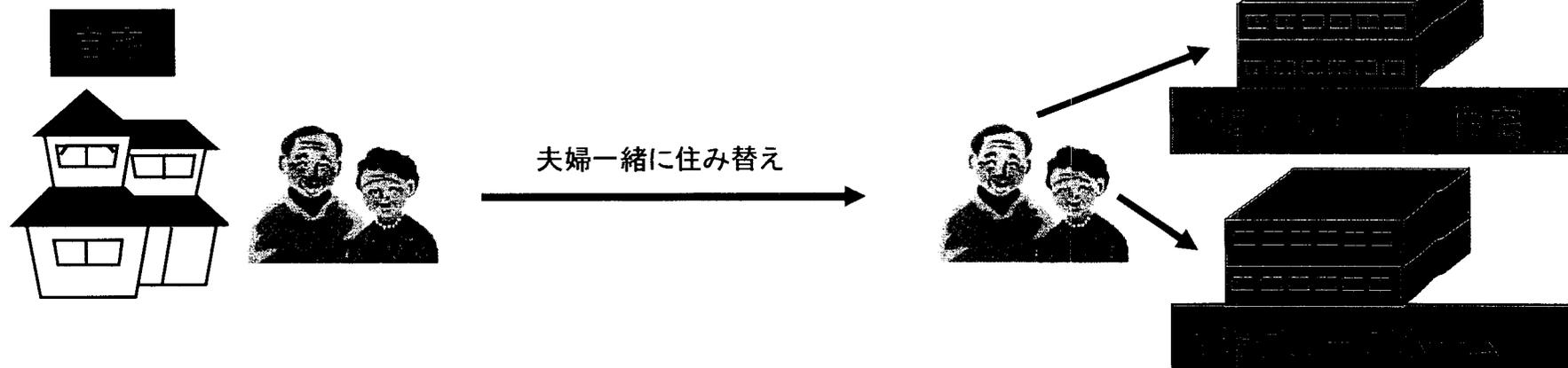
働いていない学生でも社会の中でこの程度の住環境を持っている
マンスリーアパート(60000/月)の例

認知症をケアするのではなく、夫婦の生活を支える仕組み

今までのサービスでは、別々に暮らすことになった

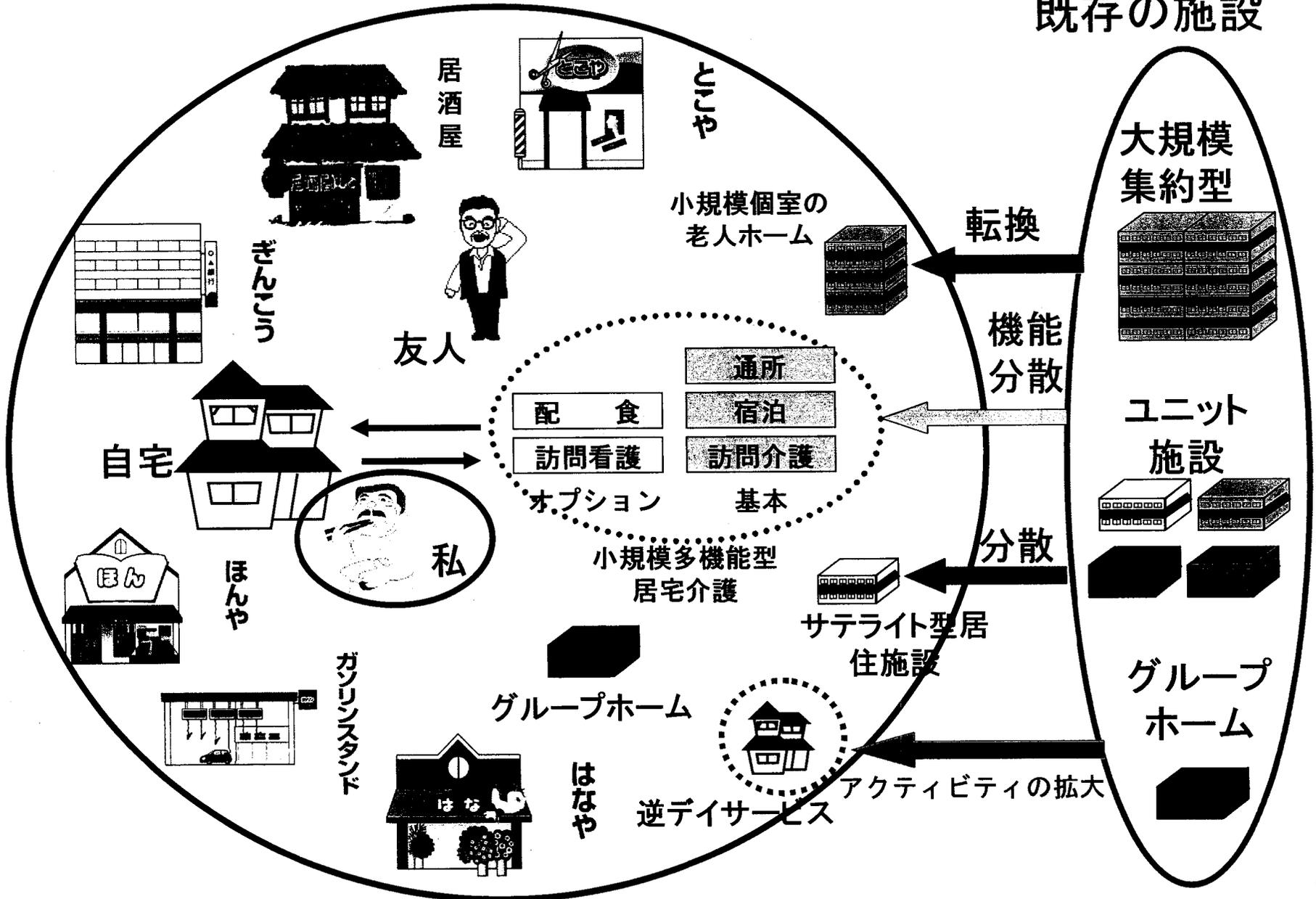


新しいサービスは共に暮らすことを支えます



私の築いてきた人生は地域内にある
他者との関係の中で生きている

地域の外にある
既存の施設



サテライト型居住施設と小規模多機能型居宅介護と住宅

